

令和元年8月29日
愛媛大学

愛媛大学が主導する共同研究チームが 難聴と軽度認知障害有症率との関連について発表

愛媛大学が主導する共同研究チーム(東京都健康長寿医療センター研究所、HITO 病院)が、世界保健機関の定義に基づいた難聴が軽度認知障害の有症率の高まりと関連することを示す研究成果を発表し、令和元年7月25日に学術誌「Ear and Hearing」の電子版に公表されました。

軽度認知障害は認知症の前段階であり、正常の認知機能と認知症の中間段階です。軽度認知障害のリスク要因がわかれば、認知症を予防できるかもしれません。最近、難聴が認知症に影響しているという報告がありますが、難聴と軽度認知障害を調べた研究はほとんどありません。

今回、中高年を対象とした「愛大コーホート研究(※)」の一部のデータを活用し、難聴と軽度認知障害との関連を調べました。その結果、難聴が軽度認知障害の有症率上昇と有意に関連することがわかりました。

今後、更なる疫学研究によるエビデンスの蓄積が必要ですが、難聴を予防することにより、軽度認知障害を予防できる可能性を示す非常に関心の高い研究成果であるといえます。

※愛大コーホート研究

高血圧やがん等の幅広い生活習慣病の予防、診断や治療法を改善することを目的とし、愛媛県在住の中高年の方数万人を目標にデータを収集。研究参加者を20年間追跡し、疫学研究の手法によるデータ統計解析で、病気のかかりやすさやかかりにくさを、体質、生活習慣、生活環境等の点から解析を行う研究。

つきましては、是非、取材くださいますようお願いいたします。

記

掲載誌：Ear and Hearing

題名：Hearing Impairment and Prevalence of Mild Cognitive Impairment in Japan: Baseline Data From the Aidai Cohort Study in Yawatahama and Uchiko.

難聴と軽度認知障害有症率との関連：愛大コーホート研究(八幡浜、内子)

著者：愛媛大学

三宅 吉博、田中 景子、仙波 英徳、岡田 昌浩、寺岡 正人、山田 啓之、
信原 孝司、松浦 文三、羽藤 直人

東京都健康長寿医療センター研究所

小川 将、鈴木 宏幸、藤原 佳典

HITO 病院

高木 大樹

本件に関する問い合わせ先

大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座
教授 三宅 吉博

Tel:089-960-5283

※送付資料 2 枚(本紙を含む)

愛大コーホート研究

－ 難聴と軽度認知障害有症率との関連について －

《背景》：世界保健機関（WHO）は、認知症が公衆衛生上の重要課題であると報告し、世界の認知症を有する人の数は2050年までに1億3,150万人に増えると予測しています。軽度認知障害は認知症の前段階であり、正常の認知機能と認知症の中間段階です。軽度認知障害のリスク要因がわかれば、認知症を予防できるかもしれません。最近、難聴が認知症のリスクを高めているという報告があります。一方で、難聴と軽度認知障害を調べた研究はほとんどありません。

《方法》：現在、進行中の愛大コーホート研究に参加頂きました一部の方々のデータを使用し、36歳から84歳までの995名の男女を対象としました。世界保健機関（WHO）が採用している難聴の定義を使用し、500 Hz、1000 Hz、2000 Hz、4000 Hzの平均聴力値が聴力の良い方の耳で25dBを超えた場合、難聴と定義しました。軽度認知障害のスクリーニング尺度である日本語版 Montreal Cognitive Assessment (MoCA-J) を使用し、26点未満を軽度認知障害と定義しました。年齢、性別、喫煙、アルコール摂取、余暇の運動、高血圧、脂質異常症、糖尿病、うつ病既往、body mass index、腹囲、就業状況、教育歴、家計の年収を交絡要因として補正しました。

《結果》：995名のうち、難聴と軽度認知障害は、それぞれ、24.3%と44.5%に認められました。難聴は軽度認知障害の有症率上昇と有意な関連を認め、補正後のオッズ比は1.86 (95%信頼区間: 1.32–2.62)でした。年齢別に解析すると、60歳以上70歳未満では補正後のオッズ比は1.64 (95%信頼区間: 1.03–2.62)で、70歳以上では補正後のオッズ比は2.30 (95%信頼区間: 1.04–5.27)と難聴は軽度認知障害と有意な正の関連を認めました（※下表参照）。

《結論》：難聴が軽度認知障害の有症率上昇と有意に関連することがわかりました。

※表. 難聴と軽度認知障害有症率との関連

	難聴	軽度認知障害の有症率 (%)	補正オッズ比 (95%信頼区間)
全体 (n = 995)	無	286/753 (38.0)	1.00
	有	157/242 (64.9)	1.86 (1.32–2.62)
60歳未満 (n = 367)	無	93/340 (27.4)	1.00
	有	12/27 (44.4)	2.02 (0.80–5.06)
60–69歳 (n = 461)	無	145/334 (43.4)	1.00
	有	76/127 (59.8)	1.64 (1.03–2.62)
70歳以上 (n = 167)	無	48/79 (60.8)	1.00
	有	69/88 (78.4)	2.30 (1.04–5.27)

出典：Miyake Y, Tanaka K, Senba H, Ogawa S, Suzuki H, Fujiwara Y, Okada M, Takagi D, Teraoka M, Yamada H, Nobuhara T, Matsuura B, Hato N. Hearing Impairment and Prevalence of Mild Cognitive Impairment in Japan: Baseline Data From the Aidai Cohort Study in Yawatahama and Uchiko. *Ear Hear.* 2019 Jul 25.

doi: .1097/AUD.0000000000000773. [Epub ahead of print]